

臨床推論

ナンバリング:N4-S1-B15

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授		
担当講座・学科(分野)	看護専門基礎講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

有症状の患者に対して適切な医療面接を行い、基本情報を網羅的・体系的に収集してアセスメントできるように、臨床推論の基本的概念を理解して症候から診断に繋げる手法について学修する。本科目では、疾病論の知識を基盤に、病態生理学と臨床疫学の双方の考え方を統合しながら、症候に基づく鑑別診断や緊急度・重症度判定(トリアージ)の実際について理解を深める。

・教育成果(アウトカム)

臨床推論の基本的な概念の理解を通して、看護実践の根拠として思考を整理・分析しながら、より適切な臨床判断をすることができる看護職への導入基盤を形成する。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護過程における臨床推論の意義について説明できる。
2. 臨床推論の種類と、それぞれの長所と短所について説明できる。
3. 臨床疫学的指標を用いた診断プロセスについて説明できる。
4. 急変時のバイタルサインの変化とアセスメントの進め方について説明できる。
5. 症候から考えられる疾患を説明できる。
6. 症候とその病態生理について、必要な基礎医学に基づいて述べる事ができる。
7. 医療面接を想定し、必要な聴取事項と追加すべき検査を挙げることができる。

・授業日程

【講義】

会場：トクダヴェール講義室2

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/16 水 3限	<p>【授業内容】イントロダクション～看護における臨床推論の意義～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床推論について概説できる。 ・看護過程における臨床推論の意義について説明できる。 ・臨床推論の種類を列挙し、それぞれの長所と短所を説明できる。 <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:90分】臨床推論の概念と看護過程における意義について調べ、疑問点を抽出する。</p> <p>【事後学修:90分】臨床推論の種類とそれぞれの要点をまとめる。</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
4/23 水 2限	<p>【授業内容】診断における臨床疫学の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療における診断の意義と診断プロセスについて説明できる。 ・臨床情報や検査の選択に必要な情報(感度・特異度・ROC曲線・尤度比)について説明できる。 ・臨床情報や検査の結果を解釈する際の必要な情報(事前確率・事後確率)について説明できる。 <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修:90分】公衆衛生学・疫学で履修したスクリーニングと臨床疫学について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】臨床疫学的指標を用いた診断プロセスについてまとめる。</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授

4/24 木 2限	<p>【授業内容】急変時のバイタルサインとフィジカルアセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状と徴候の違いを説明できる。 ・急変時のバイタルサインの変化について説明できる。 ・急変時のフィジカルアセスメントの進め方について概説できる。 <p>【関連するSBO】4、5、6</p> <p>【事前学修:90分】疾病論 I と臨床病態生理学で履修した呼吸器疾患・循環器疾患の症状と病態生理について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】急変時のバイタルサインの変化とアセスメントの進め方について要点をまとめる。</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/11 水 2限	<p>【授業内容】意識障害・頭痛のアセスメントと臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識障害をきたす疾患とアセスメントの進め方について説明できる。 ・頭痛をきたす疾患とアセスメントの進め方について説明できる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:90分】疾病論 I で履修した神経疾患の症状と病態生理について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】意識障害・頭痛のアセスメントの進め方(意識レベルの評価法、頭蓋内圧亢進症状など)について要点をまとめる。</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/18 水 2限	<p>【授業内容】呼吸困難・胸痛のアセスメントと臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸困難をきたす疾患とアセスメントの進め方について説明できる。 ・胸痛をきたす疾患とアセスメントの進め方について概説できる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:90分】疾病論 I と臨床病態生理学で履修した呼吸器疾患・循環器疾患の症状と病態生理について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】呼吸困難・胸痛のアセスメントの進め方について要点をまとめる。</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/24 火 5限	<p>【授業内容】腹痛のアセスメントと臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹痛の発生機序による分類について概説できる。 ・腹痛をきたす疾患とアセスメントの進め方について説明できる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:90分】疾病論 I で履修した消化器疾患の症状と病態生理について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】腹痛のアセスメントの進め方について要点をまとめる。</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
6/25 水 2限	<p>【授業内容】黄疸のアセスメントと臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黄疸の発生機序による分類と各々の病態について概説できる。 ・黄疸をきたす疾患とアセスメントの進め方について説明できる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:90分】ビリルビン代謝および疾病論 I で履修した消化器疾患(肝胆膵疾患)の症状と病態生理について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】黄疸の発生機序による分類と各々の病態について要点をまとめる。</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授
7/2 水 2限	<p>【授業内容】浮腫のアセスメントと臨床推論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮腫の発生機序による分類と各々の病態について概説できる。 ・浮腫をきたす疾患とアセスメントの進め方について説明できる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:90分】疾病論 I で履修した循環器疾患・消化器疾患・腎疾患の症状と病態生理について復習する。</p> <p>【事後学修:390分】(90分)浮腫の発生機序による分類と各々の病態について要点をまとめる。(300分)定期試験対策学修</p>	看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護のための臨床病態学 第5版	浅野嘉延	南山堂	2023
教	看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性 改訂第3版	浅野嘉延	南山堂	2025
教	看護学生のための臨床判断に必要な臨床推論	道又元裕	ヴェクソンインターナショナル	2023
参	急変時、何をみる？どう判断する？病棟ナースの臨床推論	増山純二、苑田裕樹	医学書院	2023
参	系統別看護師国家試験問題WEB(大学図書館データベース)	—	医学書院	2024

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験で行われる筆記試験(多肢選択客観試験)100%にて到達度を判定する。
 【形成的評価】スライドを使った問題提示やWebClassに掲載する演習問題等を通して、学修状況、講義の理解度を確認する。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・授業中のスライド提示問題については、その場で問題解説を行い知識の整理に役立てる。
- ・WebClassに掲載した演習問題については解説を読み、知識の整理に役立てる。

【その他】

- ・各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。
- ・事前学修においては、e-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス: 本学図書館を經由して接続)教材「機能障害からみたからだのメカニズム」を用いた発展学習を推奨する。
- ・事後学修においては、「看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性」を復習用教科書として活用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3): 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有/医師

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	デスクトップパソコン(HP ENVY Desktop TE01-1104.jpパフォーマンスモデル)	1	講義資料の作成等